



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〜第二九一号〜

だいかん
大寒

一月二十日

子授け餅

「神落萱」と書いて、「かみおちがや」と読む神社が伊勢市倭町にあります。近鉄宇治山田駅から徒歩十分ほど、倭姫命の御陵そばの丘に建ちます。

神社の大祭は、毎年一月八日。午前十時から、子授けの特別祈禱が行われるため、遠方からも夫婦で訪れると聞きました。この日も五年続けてお参りし、子どもを授かった夫婦がお礼参りに来ていたそうです。

午後三時からの餅撒きには天気も良く、大勢が集まりました。ここの神餅は男女の性を模したという形をしています。白色が男餅（シシ餅）、ピンク色が女餅（カイ餅）で、六日にもち米百二十キロを蒸してついたものを、地元の女性たちが一つずつ手で整形しました。この餅を食すると、子宝に恵まれると言い伝えられています。

神社の由来書によれば、創建は今から約千三百年前の天平年間（七四〇年頃）で、外宮の所管の神社でした。常明寺の境内にまつられているのが、江戸時代の『伊勢参宮名所図会』にあります。常明寺の年中行事にも「この祭りは異例で、ボラニ匹供えて、男女陰形の餅を撒く」と子授け餅が記載されているほど、古くからの信仰なのです。

祭神は、鵜萱草不合尊うかやふさあへすのみことと草野姫命の二柱。鵜萱草不合尊は、産屋の萱屋根がまだ葺き終えていないうちに、産まれた皇子で、初代の神武天皇の父神にあたります。この神は子宝が多かったために、子授けの靈験あらたかともつられていのです。

たくさんの餅を拾って、皆さん笑顔です。元気をもらった寒中の餅撒きでした。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 節分の市

旧暦では、立春を一年の始まりとし、節分は現在の大晦日と同じように考えられていたため、昔から1年の幸せを願う様々な行事が行われています。おかげ横丁では、各お店が一斉に福を呼び込み、町中が福でいっぱいになる「節分の市」を開催します。

と き／1月26日(土)～2月3日(日)
10:00～17:00(催しにより異なる)
ところ／おかげ横丁一帯

● 縁起の市

お面や福豆、厄除けいわしなどを揃えた賑やかな市です。

ところ／おかげ横丁内「特設屋台」

● 宝舟・豆まき

今年の福人(年男・年女)が、「宝舟の絵」と「豆」が入った小袋を太鼓櫓の上から降らせます。

と き／2月3日(日) 14:00～
ところ／おかげ横丁「太鼓櫓」

● 太鼓の特別演奏

熊野の勇ましい「鬼の伝説」に因んだ太鼓を披露していただきます。

と き／2月3日(日) 13:00～、15:00～
ところ／おかげ横丁「太鼓櫓」

五十鈴塾

○ 松浦武四郎の生き方

春に嵐の松本潤主演でドラマが放送される松浦武四郎は今の松阪市小野江町に生まれました。生家は伊勢街道沿にあり庄屋であったと伝わります。幼少の頃から伊勢参りの旅人を目の当たりにし、旅への憧れを膨らませ若くして全国を回りました。

武四郎というと北海道の名付け親としての面がクローズアップされますが、それだけの人ではなかったのです。膨大な紀行文を書く、北海道の緻密な地図を作製する、絵を描く、漫画を描く、篆刻をする、明治の元勳たちと交流する、骨董品好き、大台ヶ原を開拓するなどなど、普通の人の何倍もの人生を生きました。さて、その性格は？ 武四郎研究第一人者の山本学芸員のお話しは破天荒な武四郎のエピソードに満ち満ちています。

と き／1月24日(木) 13:30～15:00
講師／山本 命(松浦武四郎記念館主任学芸員)
参加費／一般1,300円 会員800円
場所／五十鈴塾右王舎
※お問い合わせ・お申込み 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

ふき とう
露の臺

黄身餡で白餡を包み、仕上げに洋酒を香らせました。ほろほろとした食感が楽しめる、春遠からじの露の臺です。

かん ぼ たん
寒牡丹

薯蕷を加えた練りきりでこし餡を包み、冬咲きの花ならではの美しさを表現しました。

ふくまめ
福豆

立春に先立つ二月の節分。お多福豆の餡で白餡を包み、節分にちなんだお菓子に仕立てました。